

2016年

**5**  
月号

# 組合会報

〈発行所〉

埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町 2-222-7

TEL 048 (666) 2184

FAX 048 (652) 7631

〈発行人・理事長〉

黒澤 久

〈編集人・総務委員長〉

島田 幸昌

### —今月号の主な内容—

「組合活動一年が過ぎて」専務理事 出野哲也 ……2

平成28年埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会

第58回埼玉県めっき技術競技会 ……3

彩の国ビジネスアリーナ2016 ……6

平成28年全鍍連賀詞交歓会 ……7

鍍金会賀詞交歓会 ……8

第4回鍍金業界「未来を担う若手の集い」 ……9

ほう素・ふっ素等、亜鉛の暫定排水基準延長について ……10

火災共済・自動車共済 ……11



**155号**



# 「組合活動一年が過ぎ去る」

専務理事 出野哲也



す。

本年度、黒澤新理事長のもと新しく組合活動がスタートしました。三役が4名中2名、委員長が3名中2名新任となり、まさに新しい体制での船出となりました。不慣れな中でのスタートではありましたが、各行事及び活動は、本年度も大きな問題もなく無事終えることが出来たかと思いま

11月には幹事県という立場で

都県の組合をお招きして関東甲信越静ブロック会議を開催いたしました。開催に向けて半年にわたり準備を行い、本年度の中心となる事となりました。会議では、株式会社ハイデイ日高の神田会長による経営体験談、各組合の活動内容の発表、全鍍連からの報告そして懇親会での各組合との交流・情報交換などを行い、ブロック会議として大変意義のある会が出来たと自負してもいいのではないかと思います。

国内景気が停滞気味の中、業界も厳しい状況が続いておりますが、そのような中でも昨年度は改正水質汚濁防止法、本年度はリスクアセスメントの実施、また近々

では排水暫定基準の見直しなど、環境面・労働安全衛生面で取り組まなくてはならない課題を多く抱えております。業界ならではの

らえ方、対応方法もあり、組合員同士の情報交換が大切になってくるのではないのでしょうか。組合的には、設備の老朽化による費用増加、組合員数減少による収入減など、長期的な視野で見えていかなくてはならない課題が多々あります。組合を取り巻く環境も以前より大きく変わってきている事も有り、組織も含め大きく変えていかなくてはならない点も出てくるかと思えます。これは一年・二年で解決するものではなく、長期的な視野で検討していかなくてはならない課題であり、そういう意味では今後の数年間は、組合の方向性を出し

ていくうえで大切な期間になっていくかと思えます。

次年度もこのような長期的な課題も検討しつつ、現状の組合活動を滞りなく行えるよう理事長のもと取り組んでいきたいと思っております。組合員はじめ関係者の皆様には、本年度に引き続きご支援・ご協力をお願い致します。



# 平成28年埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会及び めつき技術競技会・排水管理優良事業所表彰式開催される



会のもと伊藤麻美副理事長より開会の辞で始まり、主催者を代表して黒澤久理事長が次の通り挨拶された。

「皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりましたが、本年もお世話になります。本日はお忙しい中、

埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会に多くの皆様にご参集いただきまして心より御礼申し上げます。

さて、今年の景気が気になることと思いますが、いろいろな経済人の予測では緩やかな回復と言われておりますが、中国の景気減退や中東の原油安などの要因による株安の影響などがあり、早く脱して本当に景気が回復したと思える様になってほしいと願っております。

去年11月4日にこの会場にて

関東甲信越静ブロック会議を埼玉県主導にて開催されたわけですが、ご参加いただいた皆様より

「ご好評いただいたと聞いており、大変喜ばしく思っております。ひとえに組合員の皆様には感謝御礼を申し上げるしだいでありませう。

組合事となりますが本年度も会員の減少が2社ほどあり、組合員の減少が大変問題となっております事を以前よりお話しておりますが、全組合員の方で、埼玉県でめつき関連の仕事をされている方で組合に入られていない方がいらつしやいましたら是非ご紹介いただければ、昨年に私が立ち上げました会員開拓特別委員の饗場功治委員長と役員と共にお伺いしてご説明させて頂き会員及び賛助会員を増やせる様す

すめて参りますので宜しくお願いたします。

今年も申年でございます。個人的に猿という日光の猿軍団ではなく東照宮の三猿を思い浮かべます。「見ざる・聞かざる・言わざる」です。子供のころに悪いものを見ない・聞かない・言わないと言われていますが、経済人としては真逆だと思います。「沢山の物を見て・沢山の人の意見を聞いて・自分の意見を言う(発信)」しなくてはならないと思っておりますが、「猿も木から落ちる」という言葉もありますので、十分に気を付けて頂きお互いに良い年になる様に願っております。

最後に本日お集まり頂きました皆様のご健勝と埼玉県鍍金工業組合が更なる飛躍を遂げる一年になる様、皆様のご協力ご支援

埼玉県鍍金工業組合は、平成28年1月21日(木)午後5時よりパレスホテル大宮(さいたま市)にて、来賓をはじめ組合員・賛助会員多数列席のなか、平成28年埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会が開催された。

始めに、島田幸昌総務委員長司

ご指導を切にお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。」と述べました。

続いて来賓の祝辞を埼玉県知事上田清司氏代理の産業労働部副部長 加藤和男氏より知事の祝辞を代読、次に衆議院議員たけまさ公一氏、参議院議員西田まこと氏、埼玉県中小企業団体中央会会長星野進氏よりご挨拶を頂きました。

その後、全国鍍金工業組合連合会会長栗原敏郎氏より「新年明けましておめでとう御座います。常日頃より埼玉県鍍金工業組合黒澤理事長並びに組合員の皆様には全鍍連へのご支援ご協力いただいております事、重ねて御礼申し上げます。

今年是我々にとって排水暫定基準改定が一番の問題となるだろうと多くの方より耳にします。特に亜鉛の暫定が12月に改訂となる訳ですが、我々も現状維持を強く要望しております。

それから、全鍍連では若手の皆



様にサポートして頂いておりますが、2つのグループがあり、そのグループを1つに今年度中に纏めたいと考えております。

先ほど入口に埼玉県めつきコンクールの賞を受賞された品物が並んでおりましたが、全鍍連も今年度は307社の参加があり大変競争率が上がっており、来年度は333社を目指したいと思っております。このコンクールで大臣賞

を取られた企業から頂いた年賀状に大臣賞受賞と書いてあり大変宣伝効果が高い事だと思っております。ある企業では新卒の応募が増えたと聞いております。また、海外からも日本一のめつき屋さんに来て頂きたいとラブコールもあつたようです。やはり日本のめつきは世界的に素晴らしいと認識をもたれていると私は自負しております。

埼玉県の皆様にも是非全鍍連のコンクールに多く参加されるために2個作成して1個を埼玉県1個を全鍍連に参加して頂き、埼玉のトップは全国でもトップだとなつて頂ければと思っております。以前、平成23年には大臣賞をとられた甲斐野テックスさんがおられましたので、是非、埼玉県の皆様にも参加して頂きたいと思えます。

昨年の全国大会で、「日本の力は、めつきの力」変化にチャレンジ、めつき業の誇りと業界の絆」と付けさせて頂きましたが、今

年は表へどんどん出て頂きチャレンジの年に皆様もして頂きたいと思っております。」と祝辞を頂きました。

その後、出野哲也専務理事より本日まで来席いただいた来賓の皆様のご紹介をした後、東京都鍍金工業組合副理事長荻宿充久氏の乾杯のご発声により歓談がスタートしました。

本年は、同日に行われました埼玉県めつき技術競技会並びに排水管理優良事業所表彰式で、埼玉県知事賞及び埼玉県鍍金工業組合理事長表彰を受賞された企業様のご紹介がされました。

終始和やかな雰囲気の中か談話が行われ、衆議院議員民主党幹事長枝野幸男氏よりご挨拶を頂いた後、中締めに埼玉鍍金会会長甲斐野嘉彦氏より三本で締めた後、閉会の辞を小林満直前理事長より、「昨年、ある大手企業から値下げ交渉の依頼が始まったと聞きました。理由は「競争力と技術の強化」だそ

(5)



うです。私的には理解しがたく、大手企業の協理工場は良い技術を維持するために技術革新・設備更新を行えることが競争力と技術の強化に繋がるのだと思えます。その為にも適正な利益配分が将来の競争力を高める事だと思えますので是非、皆様もお考え頂ければと思います。

昨年はあまり良い年ではなかったと思えますが、今年こそは良い

年になる様祈念いたしまして、閉会の辞のあいさつとさせて頂きま  
す。本日はまことにありがとうございます  
ございました。」  
と言う言葉で平成28年埼玉県鍍金  
工業組合賀詞交歓会は閉会しまし  
た。

本賀詞交歓会の前、3時30分よ  
り同パレスホテル大宮 別会場  
にて、平成27年度第58回埼玉県鍍金  
工業組合めつき技術競技会及び排  
水優良事業所表彰式が開催され  
た。

はじめに、出野哲也専務理事司  
会のもと、吉田幸司副理事長より  
開式のことばを述べた後、黒澤久  
理事長より次のように挨拶を頂い  
た。

「このめつき技術競技会は第58  
回を迎え大変歴史のある競技会だ  
と思えます。

この競技会においては、埼玉県産  
業技術総合センター様には長きに  
わたり大変お世話になっておりま

す。また、排水優良所においては  
埼玉県と埼玉県環境課の皆様にご  
指導いただき続けてこられました  
事、大変感謝し御礼申し上げます  
と共に今後もご協力・ご指導をお  
願ひして頂きたいと思えます。」と  
述べた。

続いて、主催者代表挨拶として、  
埼玉県産業技術総合センターセ  
ンター長中村雅範氏よりご挨拶を  
頂いた。その後、主催者紹介をし



た後、表彰式に移った。

はじめに新谷祐司技術委員長よ  
り、めつき技術競技会経過報告が  
あった後、高岡彰次副技術委員長  
より表彰の発表があり表彰が行わ  
れた。次に、関東工業大学山下嗣  
人名誉教授より今回のめつき競技  
会総評がありました。

知事賞を受賞された企業は、装  
飾用クロムめっきの部…ふたば工  
業(株) 亜鉛めっきの部…(株)ト  
ッソー創研 工業用クロムめっきの  
部…川口ハードクロム工業(有) バ  
レル亜鉛めっきの部…石井鍍金工  
場(有) 無電解ニッケルめっきの  
部…(株)東工業

続いて、平成27年度排水優良事  
業所の経過報告を渡邊順一環境委  
員長代行より経過報告があった  
後、連続受賞企業の報告後、表彰が  
行われた。

最後に、受賞者を代表して、ふた  
ば工業株式会社矢澤一久氏より謝  
辞を次の様に述べた。

「本日は、埼玉県めつき技術競技

平成28年5月20日



会ならびに排水優良事業所表彰式に迎いご来賓の皆様方のご臨席のもとに、この様な榮譽を賜りました事を心より御礼申し上げます。

現在めっき産業においては、更なる高機能・高品質、主要材料におきましては低公害・適正な処分を厳格に求められる時代となっております。この様な厳しいニーズにどの様に答えていくか企業努力が問われており、長年実績を積み

上げてきた技術を手放し未知なる物へ挑戦していかねければ対応不能な業務も増え、益々厳しい環境になっております。しかし、私にとつて非常に幸運だったのはその様な難題に正面から受け一つ一つ乗り越えていくそんな逞しい皆様方の背中が沢山あった事です。

そのお姿に励まされ自分なりに努力してまいりましたが、今回この様な形で評価を頂けた事で、今後自信を持って歩める事への感謝を胸に一層の努力を致す所存であります。

最後になりましたが、本日もご忙の中をご臨席いただきました皆様のご健勝をお祈り致しまして、受賞者一同を代表いたしましたお礼の言葉とさせていただきます。」

と謝辞を述べ平成27年度第58回埼玉鍍金工業組合めっき技術競技会及び排水優良事業所表彰式を閉会となりました。

## ビジネスアリーナ2016



信頼を頂き、毎年展示会規模が拡大する中、初年度2007年来場者数9850人から約二倍近い17233人、参加企業及び団体も450から約一、五倍の642企業・団体と増加してまいりました。

当組合では、本年度新たに四社のご参加を頂き「めっきを主体とする総合表面処理加工集団―埼玉県鍍金工業組合」と銘打ち、昨年度より増してバリエーションに富んだ表面処理加工の展示を行なう事が出来、他県組合からも参考にしたいと見学頂いた次第です。

平成二十八年一月二十七日(水)二十八日(木)さいたまスーパーアリーナにて彩の国ビジネスアリーナ2016が開催され、当組合から二十二事業所が同商談展示会に出展参加致しました。

本年度で十回目を迎える同展示会に有志のみの参加を含めまして、ほぼ全参加している数少ない団体として同実行委員会からも

求めてアピールできる場を提供できる様、次年度も引き続き、参加方法等の簡略化に努めて参りたいと



展示会参加事業所

(五十音順・敬称略)

(有)石田電解研磨工業所  
 (有)今井メッキ工業所

潮工業(株)

(株)大倉

(株)甲斐野テックス

兼松精鍍工業(有)

(株)小林鍍金工業

(株)サニー電化

(有)島田工業所

新硬クローム工業(株)

スリーケ(株)

(株)精硬クローム工業

(有)高橋研磨工業

仁科工業(株)

新田興業(株)

日本電鍍工業(株)

日本ミクロ工業(株)

ふたば工業(株)

(株)ミドリ技研

(株)明光社

(有)吉田商店

吉野電化工業(株)

以上二十二事業所

最後となりますが、出展にあたりご賛同頂きました各事業所様に御礼申し上げますとともに、毎年準備にご協力頂いております埼玉薬品(株)様へも併せて御礼申し上げます。

技術委員長 新谷祐司

全国鍍金連合会、  
 平成28年賀詞交歓会に参加しました



中、全国から皆様にお集まり頂きありがとうございます。

平成28年1月29日(金)機械振興会館(東京都港区)にて開催された平成28年賀詞交歓会に、埼玉組合より全鍍連名誉顧問島村氏、全鍍連監事井上氏、黒澤理事長、仁科顧問理事、吉田副理事長、伊藤副理事長、出野専務理事、饗場監事、総務委員岡田氏、計9名が出席しました。

賀詞交歓会は、池田総務委員長の司会進行によって行われ、最初に神谷(博)副会長が開催の辞を述べました。

続いて主催者を代表して栗原会長が、「明けましておめでとうございませう。本日は寒く足下の悪い中、全国から皆様にお集まり頂きありがとうございます。1月は各組合の賀詞交歓会に参加させて頂き、今年は仕事向上になりそうだという、話を各地で聞いて参りました。また、全国めっき技術コンクールでの厚生労働大臣賞の受賞が、採用活動において大きなPR効果となつているといふ話も聞かれました。本年もめっきコンクールに積極的に参加していただき、昨年以上に参加数が増えることを期待しております。全鍍連では『変化にチャレンジ』をスローガンに掲げておりますが、皆様方におかれまして是非今年の色々と『チャレンジ』して頂き、業界の活性化そして企業の繁栄のために頑張ってくださいと思います。」と挨拶を述べました。

続いて来賓祝辞に移り、経済産業省製造産業局の福島審議官、全国中



小企業団体中央会の大村会長、日本表面処理機械工業会の奥野会長から祝辞が述べられました。

島村名誉顧問によつて乾杯の発声が行われ、出席者一同懇親を深め新年を祝いました。懇親会も終盤に近づいた頃、鈴木名誉顧問、姫野顧問理事・伊藤常任顧問が壇上にあがり、鈴木名誉顧問が中締め挨拶を行い、一同万歳三唱を行いました。最後に森脇副会長が閉会の辞を述べ盛況のうちに閉会しました。

## 埼玉鍍金工業会新春賀詞交歓会

平成28年2月5日(金)さいたま市大宮区の割烹旅館新道山家にて、埼玉鍍金「新春賀詞交歓会」盛大に開催されました。

お忙しい中、多数の会員にご出席いただき、親組合である埼玉県鍍金工業組合からは黒澤理事長、仁科顧問理事にもご参加いただきました。

饗場副会長の司会進行のもと、



最初に甲斐野会長にご挨拶をいただきました。

「早いもので私の会長職任期も例会でいえば4月例会の花見を残すだけとなりました。最初に埼玉鍍金の会長という大役を仰せつかった時には、大丈夫なのか、出来るのかと不安も沢山ありました。しかし、役員や会員の方々に支えられて無事にここまでたどり着くことができました。また、会長職をやらせて頂き、全国各地の様々な同業者とも知り合うことが出来ただけの名刺だけでも1000枚以上になりました。なかなかこんな貴重な経験は出来なと思います。今思い返せば、何だかんだ楽しい時間を過ごさせて頂いたように思います。残りの任期は短いですが、最後まで気を抜くことなく邁進していきたいと思えます。」と埼玉鍍金会長としての経験や

感想を頂きました。

続いて、埼玉県鍍金工業組合の黒澤理事長よりご祝辞を頂きました。 「確か私が埼玉鍍金の会長を仰せつかったのは1984年1985年の第8代会長だったと思います。当手を振り返りますと、精力的に全国各地を飛び回り様々な活動をさせて頂きました。また、当時は親組合となかなか連携が取りづらかったのを覚えていきます。

しかし、今では埼玉県鍍金工業組合の役員の大半を埼玉鍍金のメンバーにお任せしている次第です。埼玉鍍金のメンバーには今後とも埼玉県鍍金工業組合の活動にも尽力を頂きたいと考えていますので宜しくお願いします。」と埼玉鍍金の先輩として貴重なご意見を頂きました。

次に渡邊直前会長に乾杯の音頭



を取っていただきました」甲斐野会長の挨拶を聞いていて、私が会長をおりてからもう2年が経つのかと時の過ぎる早さを感じました。しかし、若いメンバーも沢山人会してきており今後の埼玉鍍金会の活動が楽しみです。」と直前会長らしいお言葉と共に乾杯の御発声を頂きました。

乾杯のあとは、しばしお酒とお

料理を楽しみました。ここで例年だとビンゴゲームが行われる所ですが、今年は司会進行役の饗場副会長の粋な計らいでちよつと変わったサプライズイベントが行われました。突然のサプライズイベントに参加していただいた会員様もさすがに戸惑いを隠せない様子でした。しかしサプライズイベントが始まるとそんな事は忘れ、会場は大爆笑で大いに盛り上がりました。

毎回、色々なサプライズを考えてこられる饗場副会長には本当に頭が下がります。企画、準備色々大変だったと思います。本当にご苦労様でした。

活況のうちに時間が過ぎ、最後は仁科顧問事に締めのお言葉頂きました無事に閉会となりました。今年の賀詞交歓会も会員相互の有意義な情報交換が出来たと思われまします。改めまして、ご参加いただきました皆様方の益々のご健勝・ご発展を祈念申し上げます。

## 第4回めつき業界の未来を担う若手の集い



けました。

まず、株式会社NCネットワークの内原康雄氏を講師として招き、「挑戦する製造業(中小企業)のブランド&マーケティング戦略」と銘打ち、様々な角度からの視点を駆使し、生き残る会社ではなく、「勝ち取った会社」になるにはどうしたらいいか、とこれからのめつき業界を背負って立つ若手に相応しい講義内容でした。

そして奇しくも3月11日ということ、その後の懇親会ではまず東関東大震災により犠牲となられた全ての方々に対し哀悼の意を表すべく黙祷を捧げ、御冥福をお祈りしました。

平成28年3月11日(金)午後4時より、ホテル法華クラブ仙台にて第4回「未来を担う若手の集い」がジャスト株式会社の岡崎淳一氏が会長である北青会の主催で行われました。全国鍍金工業組合連合会を始め、各県より組合、青年部が14団体、計81名が集まりました。埼玉鍍金からは7名が参加。御来賓として全鍍連より栗原会長も駆けつ

各組合団体紹介で、埼玉鍍金が最初の音頭をとる形となり、もはや名物となっている元氣とユーモア溢れる挨拶と紹介を行い、他団体様もそれに負けないそれぞれ特色



のある紹介をされ、会場は常に笑いと活気で満たされていました。時間が経つのは早く、予定時間は押しに押し、その場だけでは足らず、参加者の多くは二次会、三次会と繰り出し、交流を深めました。内容はそれぞれですが、この業界の未来の事はもちろん、過去の事や今現在の事、遊びの事と熱く語り合った夜になりました。

会社というのは一人では成り立

ちません。また、人間も一人では生きていけません。人と人が繋がり、絆が生まれ様々な関係が出来る。そうやって、人も会社も成り立つものだという事を強く実感しました。また、その絆も一朝一夕で生まれるものではなく、長い時間をかけてゆつくり作っていくものだろうと思います。昨今、めつき原材料の高騰、製造業の海外進出、年々厳しくなる環境規制、自然災害など不安材料が多く、明るい話題も少ないのが現状です。しかし、これだけ活気ある若手が多数集まり、絆を紡ぐ事が出来るのなら、この先の困難も乗り越えていけるだろうと思います。

最後に、この会に出席出来た事と、主催である北青会に感謝すると共に、この会が長きに渡り継続される事を念願しております。

ふたば工業株式会社 矢澤健

**ほう素・ふつ素等、亜鉛の暫定排水基準延長について**

ほう素・ふつ素等は今年の7月に、亜鉛は12月に暫定排水基準の延長を迎えます。

まず、ほう素・ふつ素等について、環境省「中央環境審議会水環境部会排水規制等専門委員会」において、ほう素・ふつ素及び硝酸性窒素等に係る暫定排水基準見直しについての最終検討が行われました。

めつき業界が要望した暫定排水基準は以下の通りです。

- 1 ほう素 暫定排水基準 40 mg / L ↓ 30 mg / L
- 2 ふつ素 暫定排水基準 50 mg / L ↓ 40 mg / L
- 3 窒素等 暫定排水基準 300 mg / L ↓ 一律基準 100 mg / L

れば平成28年7月1日より新暫定排水基準に移行する予定です。

亜鉛の暫定排水基準については、暫定排水基準 5 mg / L の5年間延長が検討されています。

これらの暫定排水基準を検討するために、皆様組合員へ春と秋の年2回の排水濃度調査をお願いしています。この調査を通じて、一律排水基準を超過した事業所の実態、遵守できない技術的要因、一律排水基準へ移行に向けた取組などを把握しています。めつき業界の実情を行政当局に理解してもらうための基礎データであり、大変重要なものです。

しかし、埼玉県鍍金工業組合内においては、提出回答率が今一つ良くありません。皆様の事業に係る事でもありますので、意義をご理解の上、今後の調査にご協力をよろしくお願い申し上げます。

環境委員 渡邊順一

現在(4月17日現在)、ほう素・ふつ素の暫定排水基準は、パブリックコメント中で、特段の問題がなけ

# 埼玉県鍍金工業組合の火災共済・自動車共済



〇〇鍍金株式会社の場合...  
(ご契約いただいたケース①)

	建物	建物内設備什器
保険金額	2,000万円	1,300万円

補償の内容	A社	
	建物	建物内設備什器
火災、落雷、破裂・爆発		○
風災、雹災、雪災		○
給排水設備事故の水濡れ等		○
騒擾、労働争議		○
車両・航空機の衝突等		○
建物の外部からの物体の衝突等		×
盗難		×
水災		×



埼玉県火災共済協同組合	
建物	建物内設備什器
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○
	○

(○:補償されます。 ×:補償されません。)

工場物件の場合は 上記が補償対象となり、  
埼玉県火災共済協同組合の総合火災共済は右記の補償内容と掛金です。

埼玉県火災共済協同組合
<b>25,500円</b>

払込方法 年一括掛金  
(こちらは一例です)



〇〇鍍金株式会社の場合... (ご契約いただいたケース②)  
①キャンター15 12等級 補償内容を同条件で試算した場合

補償内容	保険金額
対人	無制限
対物	無制限
人身傷害	3000万円
搭乗者	1000万円
(入院日額)	15,000円
(通院日額)	10,000円

A社
68,910円



自動車共済MAP
<b>48,120円</b>

払込方法 年一括掛金  
(こちらは一例です)

安い掛金と有利な支払いで、組合員のみなさまをバックアップ。

## 埼玉県火災共済協同組合

### 火災共済

#### ○総合火災共済

建物をはじめ機械・什器備品等の火災・落雷、  
風・雹・雪災による損害に加えて、盗難や水害、  
車両の飛び込み等、幅広い補償が受けられます。

### 自動車共済

#### ○自動車総合共済『MAP』

節約型のお得な共済料に加えて「事故有等級」  
制度を導入していませんので、大きな経費削減  
に！24時間事故受付・ロードサービス・速くて親  
切な事故処理などまかせて安心！

埼玉県火災共済協同組合

TEL: 048-641-3393 FAX: 048-645-6984

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 大宮ソニックビル7階 (担当 大石)

### 事務局よりのお知らせ

#### 【退職】

木下 みどり

この度、私事で4月20日にて、退職をさせていただく事となりました。3年間色々とお世話になりました。皆様とお会いできた事、そしてお教えいただいた事は私の大切な財産となりました。皆様のご多幸と一層のご活躍をお祈り申し上げます。お礼と退職のご挨拶とさせていただきます。

#### 【新任】

和久津 裕子

2月22日より勤務させて頂いております。和久津裕子と申します。皆様にご迷惑かけないように、一日も早く仕事に慣れて、一生懸命頑張らせて頂きます。ご指導宜しくお願い致します。



和久津裕子

千蔵和代

木下みどり



編集後記

#### 羊山公園の芝桜

秩父市街地を一望できる羊山公園に秩父名所「芝桜の丘」があります。

芝桜の植栽面積は、関東でも有数の規模を誇り、色とりどりの芝桜がデザイン化され植栽されています。植栽面積は約17600㎡、9種類、約40万株が敷地を埋め

尽くして、まるでふわふわじゅうたんのようには咲き誇っています。

芝桜の開花期間は4月中旬から5月上旬です。芝桜まつり(見ごろ期間中)は入園料を頂いております。一般300円(中学生以下無料)団体(20名以上)250円

羊山公園アクセス

車 関越自動車道花園ICから国道140号↓皆野寄居バイパス利用約25km

芝桜まつりの期間中は渋滞する場合があります。羊山公園駐車場が満車となる場合があります。満車の際は臨時駐車場をご案内する場合がございます。

#### 鉄道

西武鉄道横瀬駅から徒歩約1.4km

西武秩父駅から徒歩約1.5km

#### お問合せ

秩父観光課 0494(25)5209

<http://navi.city.chichibu.lg.jp/inquiry/>

検索ワード 羊山公園



#### 印刷

保証企画工芸株式会社

〒110-0012

東京都台東区竜泉1-4-3

TEL03(3875)1641